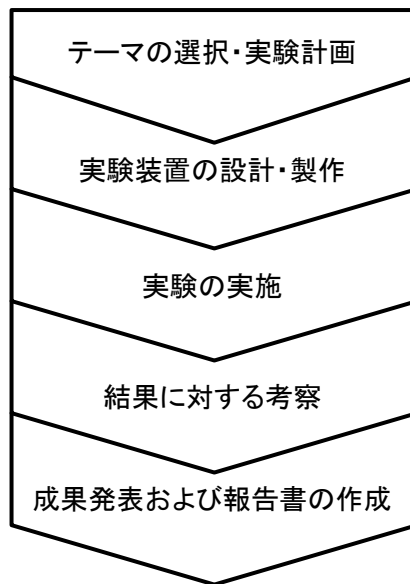


物理学プロジェクト実験（後期）

「物理学プロジェクト実験」は、テーマの選択、実験の計画、実行、発表までを、教員の指導の下に自主的に行う実験科目です。自ら学び、研究する経験は、卒業研究や就職活動などに大いに役立ちます。

- 次のような能力を養えます
 - ・グループ活動によるリーダーシップや協調性
 - ・「現象」の物理学的理解に対する深化
 - ・プロジェクト全体の管理運営能力
 - ・発表会に向けたプレゼンテーション能力

- 「プロジェクト」は、右のフローチャートのよ
うに進みます
- 基礎物理から応用まで幅広いテーマが
選択できます
- プロジェクトの計画立案や資料作成は、ES
作成やGDなどのトレーニングになります。
- また、卒研前に臨む就職活動でも、「学生
時代に取り組んだこと」として経験が活
かせます。



「学生博士賞」表彰式後の集合写真

学生博士賞

- ・ 量子力学入門，統計物理学入門，物理学実験Ⅲに加え，4つの必修科目を含む，7科目の**関連科目**の成績と，**物理学プロジェクト実験**への取り組みで評価されます。
- ・ **学生博士賞**は「**学部長表彰**」で、卒業時に秀でた業績を挙げた学生に贈られる**総長賞**や**学部長賞**と同様に、履歴書などの公文書への記載も認められる受賞です。
- ・ 平成25年度には、理工学部全体で123名、物理学科では11名（プロジェクト実験受講者のおよそ1/4）の学生に学生博士賞が授与されました。

注意：物理学プロジェクト実験の履修には物理学実験Ⅲの履修が必要です。